

事務事業名		東古屋キャンプ場公衆用トイレ浄化槽化工事				<input type="checkbox"/> 事後(中間)評価対象事業			
総合計画	政策名	0:3: 産業活性化に向けたまちづくり				所属課	産業振興課	担当	林務商工観光担当
	施策名	0:2: 地域特性をいかした観光の推進				課長名	和氣 剛	担当者名	藤崎 昭久
予算科目		会計	款	項	目	事業	事業コード名	関係法令・条例等	
		1	0:7	0:3	0:2	0:0:3	東古屋キャンプ場管理費		
事業期間		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定 ( 年度~ 年度)							
事務事業の概要 (事務事業の内容を記載)		<p>1 事務事業概要 公衆用トイレの和式から洋式化及び汲み取り式から浄化槽設置を行う。 ここ数年、利用者が急増(特に子供、女性)しており、トイレを洋式化してもらいたいとの声が多く寄せられている。また、現在、汲み取り式であることから、清掃費用が増加傾向となっているため、洋式化及び浄化槽設置を行う。 (推定利用者数 H24 340人 H25 300人 H26 764人 H27 1,341人 H28 1,565人)</p> <p>2 概算事業費 (1)工事請負費 4,000,000円</p>							

(1) 事務事業の目的と指標		(4) 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
① 活動の計画(活動の量・大きさ・規模等) 洋式化及び浄化槽設置	→	名称	単位
		ア 洋風便器	組
		イ 浄化槽	式
② 対象(事業は誰・何を対象にしているのかを記載) 東古屋キャンプ利用者	→	名称	単位
		ア 利用者数	人
③ 目標(この事業によって、対象をどうしたいのか記載) 施設機能の向上による、利用客のサービス向上及び集客アップ	→	名称	単位
		ア 年間利用者数	人
		イ	

(2) 指標・総事業費の推移		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度 総合計画 最終年度
活動指標	ア	目標値 組			3			
	イ	実績値 式			1			
対象指標	ア	目標値 人			1,500	1,600	1,650	1,700
	イ	実績値 人	1,341	1,565				
成果指標	ア	目標値 人			1,500	1,600	1,650	1,700
	イ	実績値 人	1,341	1,565				

計画		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
投入量	事業費	国庫支出金 千円						
	財源内訳	県支出金 千円		1,200				
		地方債 千円						
		その他 千円						
		一般財源 千円	377	360	2,800	120	120	120
		事業費計 (A) 千円	377	360	4,000	120	120	120

実績		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
投入量	事業費	国庫支出金 千円					
	財源内訳	県支出金 千円					
		地方債 千円					
		その他 千円					
		一般財源 千円					
		事業費計 (A) 千円	0	0	0	0	0

評価項目	説明	事前評価結果	実施後の状況	事後評価結果
目的 妥当性 評価 ① 公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのですか？税金を投入して、達成するものですか？	キャンプ場利用者や町民の利便性を確保するものでありキャンプ場の管理者である町が整備することが当然である。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
有効性 評価 ② 着手・実施の必要性 この事務事業をなぜ着手・実施しなければならないのか？先延ばしにできない理由は何か？	施設利用者数が2年連続1,000人を超え、今年度についても見込まれるうえ、県単補助金の該当となるため。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
効率性 評価 ③ 総事業費の算定根拠 算定にあたってコスト削減策を考えたか？将来のコスト増要因に対して対策が考えられているか？	改修により、清掃費用の軽減が見込まれる。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
公平性 評価 ④ 受益と負担との関係 事業の内容は受益と負担との公平性が考慮されているか？	キャンプ場利用者については、利用料を徴収している。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり

### 3 事前評価結果

事前評価日： 平成 29 年 8 月 1 日

(1) 事前評価者として判断した今後の事業の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 1次案のまま採択 <input type="checkbox"/> 下記条件で採択 <input type="checkbox"/> 不採択 <input type="checkbox"/> 差し戻し	
(2) 採択条件	(3) 指示事項(事務事業に関する指示、事後(中間)評価日程等)

### 4 成果検証

事後(中間)評価日： 平成 年 月 日

事務事業実施後の概要 (実施しての効果、受益者等の反応、問題点、課題等を記載)	
--	--

(1) 評価結果(今後の方向性) <input type="checkbox"/> 優(成果大) <input type="checkbox"/> 良(良好) <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可(成果なし・中止・計画変更必要)	
(2) 総評	(3) 指示事項
	<input type="checkbox"/> 再評価対象事業